



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

地域農業の持続的な発展と 地域社会の持続性を 維持するために 挑み続けます!

一陽来復の春 謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

組合員並びに日頃より当組合を御利用頂いております皆様には、輝かしい令和四年の幕開けを健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、事業運営にわたりまして、格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、未だ猛威を振るい続ける新型コロナウイルス

進む当地の農業とそれを支える農機具や創意工夫された使い方、技術を多くの方々にお示しできたことが、各地域の農業振興に寄与し、秋田県農業並びに地域経済の更なる振興の一助なったのではないかと自負しております。

これもひとえに、催行にあたりご尽力くださいました能代市をはじめ地元協賛会の皆様、各種出品展示に御協力くださいました農家組合員の皆様の御支援、御協力の賜物と、重ねて深く感謝申し上げます。

さて、昨年4月に東能代地区に着工した新本店新築工事は、JA全農東北広域施設事業所様をはじめ、工事関係者各位の御尽力により、昨年未現在で工事出来高80パーセントを超え、今春3月24日の竣工予定に向け事故もなく順調に、施工されております。

同月28日から運用開始する新本店は、管内農業の発展と、地域の活性化の要としての期待を背負った重要な施設となります。

組合員や地域利用者に新しい協同活動の拠点として、なくてはならないJAあきた白神の役割を将来に渡って担い、組合員や地域の皆様に親しまれ、永くご愛顧頂けるよう、より質の高いサービスを提供するため有効に活用させていただきます。

結びに、組合員をはじめ地域の皆様の負託に応え、存在意義のある組織として生き残るために「何を成すべきか」を皆様と共に協議し、地域農業振興を最優先に、本年も引き続き日本一のJAを目指して着実に前進させ、皆様が安心して暮らせる地域社会を築けるよう鋭意努力して参りますので、事業運営への変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うとともに、輝かしい令和四年の皆様の新たな門出が、明るい未来につながることを御祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。

ルス感染症の影響により、人や物の動きが停滞し、国内経済が低迷するなど気持ちが沈む雰囲気が長く続いております。しかし、手洗いやマスクなどの感染防止対策の徹底や、ワクチン接種の普及などで、新規感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されるなど、僅かながら明るい兆しも見えてきました。当組合の事業運営は総代会等の規模縮小開催や、各生産部会講習会など主要行事の中止、首都圏市場など取引先への営業等の自粛により厳しい事業展開となり、特に販売事業においては、外食需要の減少等により多大な影響を受けました。組合員や地域の皆様には、御不便と御心配をお掛けしたことについてお詫び申し上げますとともに、御理解と御協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

と存じますが、農家組合員の皆様の懸命なご努力により、多数の秀でた農作物を出荷頂きましたことに、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。

昨秋には、「白神の空にとどけ! 豊稔の祈り。大地の恵みを、能代から。」のキャッチフレーズのもと、第144回秋田県種苗交換会が、能代市で9年ぶりに開催されました。農産物出品展示会場には、管内からは201点が出品され、農林水産大臣賞を受賞した「白神ねぎ」や収穫時期を交換会に合わせ出品した「白神山うど」など、白神ブランドの品質と栽培技術の高さを、会場に訪れた約40万人の来場者に十分に示すことが出来ました。

種苗交換会はコロナ禍の影響により、例年通りの開催とはならず、規模を縮小しての開催となりましたが、秋田やまもと農業協同組合様との協賛イベント「おらほの農機展示会」では、県内でも先進的に複合経営、畑作物の生産拡大が

謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

理事

工藤 巖

代表理事専務

工藤 寿博

理事

小川 繁

常務理事

伊藤 淑人

理事

石山 淳子

理事

戸松 博美

理事

佐藤 静子

理事

池端 勝尚

代表監事

桂田 和弘

理事

茂呂 誠

常勤監事

松嶋 須直

理事

藤田 祐紀

監事

塚本 幹夫

理事

永塚 誠司

員外監事

石郷岡 章

理事

男鹿 栄子

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。